

令和7年12月門川町定例教育委員会会議録（概要版）

- 1 日 時 令和7年12月23日（火） 午前9時00分～午前10時25分
- 2 場 所 教育長室
- 3 出席委員 金子文雄教育長、新名章教育長職務代理者、金丸眞委員、山倉照子委員、池田千絵委員
- 4 事務局 椿原教育課長、川越教育課課長補佐
- 5 議 案 議案第15号 令和8年度校区外通学許可申請について
- 6 そ の 他
 - ・令和8年二十歳の記念式について
 - ・令和7年度わたしたちの思いを語る会について
 - ・教育委員会1月の行事予定について
 - ・1月定例会の日程について

7 会議の概要

（1）開会（午前9時00分）

（2）会議録の承認

教育長から11月定例教育委員会の会議録の承認が諮られ、承認された。

（3）教育長あいさつ

新聞報道等でご存知かと思うが、大東建託が発表した「街の幸福度ランキング2025<九州・沖縄版>」において、門川町は九州3位になった。昨年の1位から順位は落としたものの、大変誇らしい結果である。そして、それに見合う教育の実現も大事だと改めて感じた。後ほど、次年度以降に町全体で取り組みたい研究テーマを紹介したいと思うが、教育を通して地域を変えていくような取組ができないか考えているところである。

（4）教育長報告

・12月業務報告

- 1日 民生委員児童委員協議会情報交換会（送別会）
- 2日 議会・開会
- 3日 議会・一般質問
- 4日 議会・一般質問
- 5日 町議会・閉会
- 6日 教育研究連合会日向支会研究大会（講演）
- 9日 人事評価フィードバック
町内小・中学校下校時避難訓練
- 10日 学校支援訪問（門川小学校）
- 11日 学校支援訪問（草川小学校）
第2回拡大大学校運営協議会

- 12日 部活動地域展開に向けた座談会
- 14日 門川町PTA研修大会
- 16日 定例課長会
- 17日 県教育長訪問
門川高校学習成果発表会
- 18日 教育振興基本計画第3回策定委員会
- 19日 定例校長会
子ども読書活動推進計画策定委員会
- 23日 定例教育委員会
定例地区会長会
- 24日 文化財保護審議会委員来庁
- 26日 株式会社メタルアート社長来庁
延岡学園短歌コンクール全国優勝表敬訪問
仕事納め式

・12月校長会の報告

金子教育長が校長会資料に沿って報告

- ① 12月定例議会について
- ② 学校経営について 門川町教育振興基本計画の活用、国の調査研究事業委託
- ③ 学力向上について 学力向上プロジェクト委員会の取組、ICT活用
- ④ 人材育成・人事異動について 教職員評価の提出・活用、講師等の確保
- ⑤ 生徒指導について 年末・年始の生徒指導の充実、コンプライアンス関係
- ⑥ その他の行事について
- ⑦ 次年度からの研究推進体制案について別資料に沿って説明

○新名章委員

調査研究について、校長先生たちがどう受け止めたのか、考える時間が必要だと感じた。

●金子教育長

次年度計画にも影響することなので、この時期に町の方針として説明し学校に方向性を示したところである。校内研究についても、これと合致させることでより効率的に進められるのではないと思う。具体的な取組については今後プロジェクト委員会や校長会で話し合っていきたいと考えている。

○新名章委員

現場を見ていると危惧されることもあり、難しいと感じる。

●金子教育長

昨年の先進地視察で見えてきたことを実践するためにプロジェクト委員会で整備し、既に準備ができているところである。一枚岩の取組にするための方向性を示す資料だと考えてもらえるといい。

(5) 議事

- ・議案第 15 号 令和8年度校区外通学許可申請について

黒木学校教育係主査が資料に沿って説明

令和8年度における校区外通学許可申請について、門川町立小中学校通学区域に関する規則第4条に基づき教育委員会に諮るものである。対象の児童生徒は、新規2名、継続20名である。

- 金子教育長 承認いただけるか。
- 委員 はい。

(6) その他

- ・令和8年二十歳の記念式について

山腰社会教育係会計年度任用職員が資料に沿って日程及びプログラム等の説明を行い、教育委員各位へ出席を依頼。

- ・令和7年度わたしたちの思いを語る会について

尾崎学校教育係主事が資料に沿って日程及びプログラム等の説明を行い、教育委員各位へ出席を依頼。

- ・教育委員会1月の行事予定について

川越教育課課長補佐が資料に沿って説明

- ・1月定例会の日程について

1月23日（金）午前9時から

○池田千絵委員

保護者の間では中学校就学について多くの話題があがっている。

●金子教育長

落ち着かない学級があり、この学期末から3学期にかけての指導でどれくらい改善していくか大きな課題である。入学する子供に安心感が与えられるような学校にしていかなければならない。

○山倉照子委員

「学校と地域」という言葉はよく耳にするが、「地域と家庭」という繋がりがあると、もっとうまく回るのではないかと思う。

○新名章委員

自治会や育成会に入らない、地域の行事があっても参加しない家庭が増え、今後地域はどうなっていくだろうと危惧する。隣近所と助け合うこともできなくなる。

○山倉照子委員

地域が参加する学校行事に「保護者も一緒に」参加できるようにすると、保護者も、地域の人を知ることができていいのではないか。

●金子教育長

保護者との関係をつくる機会が無くなっている。社会教育はもちろんだが学校教育を通じて改革するなど地域の方々と交流する機会をつくっていいのではないだろうか。

○金丸眞委員

以前は地区児童会などがあり保護者同士が顔を合わせる機会があった。地域が集まる場を学校でつくることができれば少しは変わるかもしれない。

●金子教育長

意図的にでも交流する機会をつくっていくことが大事だろう。子供を通じた地域づくりが理想的である。

(7) 閉会（午前10時25分）